

令和 4 年 第 3 回定例会 一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	赤 井 睦 美	<p>1. 地方公務員の副業を！</p> <p>2. 子ども達の身体が心配！</p>	<p>6月25日の農業新聞によると、今年に入り、職員の副業基準に『農業』を明記する地方自治体が増えているそうです。今まで農業は公務員が副業先にできない「営利企業」に含まれると解釈されてきましたが、実施しているどの自治体も地域の基幹産業を守ることが公務員に求められる「地域貢献」や「公共性」にあたりと見直しています。</p> <p>農業が生産だけではなく、加工・流通・観光など地域経済全体を支えており、特に生産現場の人手不足が危機的な状況にあるためです。先行導入した和歌山県有田市や青森県弘前市は、慢性的人手不足に悩む特産品のミカンやリンゴの繁忙期に限定し、山形県や寒河江市もサクランボの収穫期に絞っているそうです。また、日高振興局では、基幹産業のコンブ漁に、鹿部町でもホタテや昆布漁というように、漁業での副業も見られます。</p> <p>副業という名目で人手不足を補うことも求められていると思いますが、八雲町が取り組むとしたら、人手不足を補うことを目的とするのではなく、「地域に飛び出し、地域課題に直接触れ、業務に活かす」という狙いであってほしいと思います。ただ、毎日遅くまで残業し疲れ切っているところに強制はできませんので、是非、地域に飛び出したい職員に対しては、背中を押してほしいと思います。</p> <p>また、広島県福山市や大阪府能勢町、余市町ではその逆に、兼業を前提としたキャリア採用を取り入れているそうです。週1回や月4回、任期付き短時間や会計年度任用の形態で外部人材（民間はもちろん、国家・地方公務員も）を採用し、兼業・テレワークで働いてもらっているそうです。</p> <p>人口減少が進む中、いろいろな方法を工夫し、八雲町の元気を維持すべきと思いますが、町長のお考えをお伺いします。</p> <p>2018年9月の定例会でも、カバンが重すぎるので置き勉を！という質問をさせていただきました。その時の答弁は、子どもの健康管理を重視するとともに、家庭学習への影響も考慮し、各学校の状況に応じて検討してもらおうということでした。</p> <p>その時の質問でもお伝えしましたが、子ども達が背負うカバンの重さは、体重の15%を超えないようにしたほうが良いというアメリカの調査結果も出ています。ところが、先日「これ持ってみて！」と言われて1年生のランドセルの重さを量ったら6kgもあり</p>	<p>町 長</p> <p>教 育 長</p>

ました。1年生の平均体重は21 kgとされていますので、その15%は3.15kg。約2倍の重さを背負って往復していることになります。体重50 kgの大人にすると、毎日2リットルのペットボトルを約7本半背負って歩くのと同じだそうです。体力がつくという考えもあるかもしれませんが、成長期真っただ中にある子ども達にとっては、弊害のほうが大きいのではないのでしょうか？実際『ランドセル症候群』という言葉も出ています。各学校で置き勉は実施されているようですが、あの頃に比べ今は、水筒もクロームブックも持たなければならないので、ますます重くなり、置き勉だけでは解決しそうにありません。

是非、子ども達のために良い解決策を検討してほしいと思いますが、いかがでしょうか？

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2	倉 地 清 子	1. 物価高に対する生活支援について	<p>政府は物価高の対応策として「物価・賃金・生活総合対策本部」の設置をしています。物価高対応に使う地方創生臨時交付金の財源として、2022 年度の予備費などから1兆円を確保しています。交付金は、低所得者への給付金上乘せや給食費の負担軽減、農林漁業者などの支援に使われます。地方の実情に応じて効果的に活用できる仕組みにし、増額幅や見直しの具体策を検討中です。</p> <p>地方自治体の取り組みの一例として、札幌市は物価高での市民生活支援策として1家庭1か月当たり1,452円の上水道基本料金について、10月・11月の2か月分を無料にする予定です。市内およそ102万件の全ての家庭が対象で、事業費はおよそ30億3,000万円となります。</p> <p>国の原油価格・物価高騰に関する経済支援は、十分な支援となっておらず、一般家庭へ直接的な支援策が必要であり、住民の手続きが不要な水道料金の基本料金減額は大変有効と考えます。</p> <p>そこで、町として水道基本料金の6か月間無料と物価高対応策として実施してはいかがでしょうか。または、他に対応策を何か考えていますか。町長のお考えをお伺いします。</p>	町 長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	三澤公雄	1. “武力攻撃”があった場合の“備え”はあるのか？	<p>ロシアによるウクライナ攻撃から半年を過ぎたが、解決の兆しは一向に見えない。そんな中で八雲町はウクライナからの避難民の受け入れ表明など、頼もしい一面を見せている。</p> <p>そこで伺う。防災の日が制定されている9月だから災害関連の質問が重なると思うので、私は武力攻撃という災難に対して質問をする。</p> <p>(1) 八雲町は、国民保護計画ではどのようなことを想定しているのか？</p> <p>(2) 住民に対しては避難計画はあるのか？また、被災想定は？</p> <p>(3) “被災者”へは、どのような支援をするのか？</p> <p>自然災害等には災害救助法や被災者生活再建支援法及び災害弔慰金支給法などで、ある程度の補償はされるが、武力攻撃に対しても被災者への補償を考えるべきではないか？</p>	町長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	佐 藤 智 子	1. 情報公開のあり方は	<p>新幹線トンネル工事発生土の成分などを求める「情報公開請求」を町に求めた際、大部分が黒塗りで出てきたと当該町民の方から聞かされ、実際の書類も見せていただいた。およそ情報公開とは言えない提出の仕方で驚いた。</p> <p>『八雲町情報公開条例』第6条第1項に「非公開情報」に当てはまる部分があるが、この度は、それ以外の情報も伏せられている。この条例の前文や八雲町自治基本条例に照らして、本来、情報公開はどうあるべきだと考えているか。</p>	町 長
		2. 国道5号線沿いの景観整備を	<p>国道脇のイタドリなどの雑草は、年に一度は函館道路事務所が草刈り機械等で刈り取ってくれる。しかし、国道両脇のわずか1メートルほどが刈り取られるだけで、背の高い雑草は残されている。</p> <p>噴火湾を望む八雲町の景観が整備され、町外から来る人々に、もっと八雲の景色の素晴らしさを見てもらうための手立てはないか伺う。</p>	町 長
		3. 教員住宅の点検整備を怠りなく	<p>現在の教員住宅の退去後、入居前の点検・整備は、どのようなシステムで行われているか。直接教育委員会が行っていること、委託していること、過去にあった困った事例や今後の改善点を含めて、先生たちが気持ちよく過ごせる環境に気を配ることができているか伺う。</p>	教 育 長
		4. 随意契約は慎重に	<p>木彫り熊デザインは、随意契約だった。公平性に欠けるのではないか。契約は、募集・入札を基本に行うべきと思うがどうか。</p>	教 育 長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	横 田 喜 世 志	1. 旧国立病院跡地の管理について	新たな庁舎建設予定地として旧国立病院の跡地を取得したが、現状は雑草等が伸び放題となっており、管理されていないように思われるが、どう管理しているのか伺う。	町 長
		2. 八雲町バイオマス利活用施設の運用について	八雲町バイオマス利活用施設条例第5条で、利用できる者は町内に住所を有する者となっているが、町長が認める時は町外の者も利用できることになっている。過去3年間の町内及び町外利用者の実績を伺う。	町 長
		3. 8月の大雨に対する浸水対策について	8月16日の大雨により小河川の氾濫が多く避難勧告が出されるなど、関係各位の皆様には敬意を表すところであります。 今回、体育館側の浸水がなかなか引かなかったが、ここは過去にも元町が浸水する状況となったが、その経験を踏まえ、どのような対策をしてきたのか伺う。	町 長
		4. 建設工事施工監理費用の必要性について	町発注の建設工事に施工監理費用をかけているが、必要なことなのか伺う。	町 長